

(別紙4(2))

事業所名: グループホームひろた

## 目標達成計画

作成日: 令和1年10月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開設14年目だからこそ、当時スタッフ全員で掲げた理念の持つ意味を改めて理解共有を深める必要がある。	スタッフ全員が理念を理解共有し、サービスの実践につなげていく。	①各ユニットで理念の持つ意味について話し合いを行い、全員が理解をすることができる。 ②フロア一会議で理念に基づいた実践について検証をする。 ③全体会議で②の内容を取りまとめ、運営推進会議で報告をする。	6ヶ月
2	40	入居者の心身状態の重度化に合わせて、食事形態も刻み食やソフト食などにかえて提供しているが、「判りにくい食べ物」になっていないか？本当に食事を楽しんで頂けているのか？	食べる側も提供する側も共に食事を楽しむことができる。	食事の味付や盛付け(見た目)、調理法、器や自助具、提供の仕方、嗜好など対象者個々の食事(摂取状況も含め)の現状を把握した上で、職員間または運営推進会議で試食会も行ってみたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。